

理事会承認事項

① 平成30年度事業報告について

協会の事業実施にあたっては、観光と物産の両機能を一体化させることに意を用いるとともに、より効率的・効果的な事業展開を図るため「日本版DMO法人」として正式に登録されたことを受け、地域関係者と連携してDMO法人としての活動を本格化させた。

まず、観光部門では国内向けとして、各地域の観光資源を活用して企画・作成した本県ならではの着地型旅行商品の販売を行うとともに、旅行会社への営業・誘客活動や旅行博・商談会・物産展等の各種観光物産関連イベントに参加し、本県の観光資源等を広く宣伝した。また、7月豪雨災害に伴う風評被害の防止や南予地域への誘客促進にも臨機応変に対応した。

海外向けでは、国際定期路線の安定運行や新規開設、海外からの誘客拡大に向けて、県と一体となって航空会社や旅行会社を訪問した。現地で開催される商談会や誘客セミナーにも積極的に参加してプロモーション活動等を行うことにより海外の旅行事業者とのネットワークを築き、次年度への展開につなげている。外国人向け体験コンテンツの造成・情報発信・販売促進を行うほか、農業や酒蔵などテーマ別観光による誘客を目指して観光客のニーズ等を調査するためのモニターツアーも実施した。

また、えひめ愛顔の観光物産館に観光案内・物産販売促進スタッフ（英語対応）を配置して機能を強化し、JNTO 認定外国人観光案内所（カテゴリー1）として認定された。近年増えつつあるクルーズ船の本県寄港を促進させるため、関係機関等と連携協力し受入体制整備のサポートを行った。

さらに、情報発信としては、愛媛県観光ホームページ「いよ観ネット」及び外国語サイト「Visit Ehime Japan」の運営を行うなど、インターネットやSNS等を活用して魅力ある観光コンテンツを画像や動画により広く国内外にPRしたほか、県内におけるコンベンションの開催支援、各関係団体との連携等を行った。

この結果、本県の外国人延べ宿泊客数は前年対比22.4%増の218,730人（前年178,590人）となった。

物産部門については、物産観光情報拠点である「えひめ愛顔の観光物産館」において、県産品の展示・販売及び県内の観光情報の発信に積極的に取り組んだ。特に、従来休館日であった水曜日を営業日にするるとともに年末年始の休館日を短縮することにより利用客の利便性向上に努めるとともに、売上増を図った。また、ソウル便や台湾チャーター便の就航等にあわせた記念キャンペーンを実施し、訪日外国人観光客への県産品の宣伝と販売強化に努めた。

ネットショップ「愛ある愛媛いいよかん」においては、ホームページの充実を行うとともに、新規商品開発を行い、全国に発信することによりニーズの発掘に努めた。販売強化策としてはネットショップの限定クーポンを添付した紹介チラシを作成し、大規模催事等の参加

者に配布し、顧客の確保に努めた。また、被災地応援割クーポンの実施により、西日本豪雨災害の被災地支援を行った。

県外百貨店における物産展や、ひめぎんホール・県武道館等で開催された各種大会・イベントに積極的に出店し、県産品の売上拡大を図り、併せてポスター掲出、メディア活用、パンフレットの配布により本県観光情報を発信し、認知度向上に取り組んだ。また、新たな物産展展開が期待できる店舗への訪問交渉や、商談会への参加等、営業活動を行った。

県外における拠点であるアンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」では県産品の情報発信、イベントスペースでの展示販売を行い、消費者の愛媛県産品に対する施行などの情報収集に取り組み、首都圏における活動拠点として有効活用を努めた。大阪支部においては、県内各市町の物産展を開催するほか、県人会や近畿周辺のイベントに参加し販路拡大に取り組んだ。

この結果、協会全体の県産品販売額が前年度より31%増の223,275千円（前年度170,321千円）となった。

今後は、東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」や継続した南予への誘客促進事業等、あらゆる機会を捉えて一層の魅力発信に取り組むとともに、インバウンドにおいては、7月の松山ー台北（桃園）を結ぶ定期便就航や大型クルーズ船の松山港寄港等を皮切りに、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」や「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会」開催に伴い増加が見込まれる外国人観光客を積極的に取り込んでいく。

また、対象地域が重なる県内外のDMOとの連携を意識しながら、「世界水準のDMO」を目指して、各種デジタルマーケティング事業のデータも活用した効果的な事業実施に努めるとともに、観光と物産の両面から積極的にアプローチすることにより、地域関係者とともに「地域が儲かる観光」の確立に取り組んで参りたい。

I 愛媛DMO事業

1 組織運営

事業推進戦略を策定し、DMO候補法人からDMO法人への変更登録等を行った。

(1) 愛媛DMO推進体制

①DMO推進委員会の開催 2回

②日本版DMO法人登録

申請区分 地域連携DMO

登録年月日 平成30年7月31日

③地域別DMO推進チームの開催

地域別推進チーム（東予、中予、八幡浜、宇和島の4チーム）を開催し、地域の主体的な観光地域づくりの取り組みを促進した。

2 国内営業・誘客活動

旅行会社への営業・誘客活動や旅行企画担当者を招聘したファミトリップ等を展開した。また、各種観光物産イベントへ参加したほか、県内外からの観光相談に適切に対応する等、様々な機会を通じて本県の観光資源等を広く宣伝した。

(1) 主な旅行会社へのセールス、情報収集活動の展開

首都圏、関西圏の営業を継続・強化するとともに、新たに九州地区へ展開するなど、延べ193社、302名にセールス等を実施した。これらの他、旅行博・各種商談会への参加等に合わせてセールス等を行っている。

(2) 旅行博、旅行商談会等への参加

8回の旅行博等にて一般来場者へのPR及び旅行会社等との個別面談を実施した。

(3) ファミトリップの実施

国内の旅行会社企画担当者を本県に招聘し、各地をPRするためのファミトリップを実施した。

(4) 造成商品の販売、パンフレット助成等

旅行需要を持った人に愛媛に関する観光物産情報を認知してもらい、全国から一層の観光誘客、本県のイメージアップ、観光産業の振興を図ることを目的として、旅行業者が作成するパンフレット等の作成経費の一部を助成した。

・全体申請件数36件に対し、累計6,266千円を助成

(5) 営業用ツールの作成

①「愛媛県観光ガイドマップ」の作成 発行部数120,000部

②「愛媛グルメマップ」の作成 発行部数50,000部

③愛媛県観光情報誌「えひめ」2019年版の監修・配布

愛媛を旅するならこれ1冊という市町別の観光データを盛り込んだ観光レジャーガイドブック「えひめ」を監修し各種イベントや観光展において活用した。

④観光宣伝ツールの作成

観光展への来場者等が観光パンフレットやノベルティを持ち運ぶための県内観光スポットの写真を掲載した観光PR袋を作成した。 作成部数 20,000 枚

(6) その他旅行客の誘客活動

①航空会社パンフレットを活用した個人旅行客向け誘客プロモーション

航空会社パンフレットを活用した個人旅行客向けの情報発信を行い、他県からの誘客及び愛媛県への宿泊促進を図った。 送客人数 134 名

②インターネットを活用した個人旅行客向け誘客プロモーション

専門的なノウハウを持った業者にWEBサイトを活用した誘客プロモーションを実施し、他県からの誘客と愛媛県への宿泊促進を図った。

予約数は約 165 千人泊 (約 1,175,436 千円)

③旅行会社のキャンペーンを活用した誘客強化

旅行会社が企画するキャンペーンを活用し、戦略的なプロモーション活動及び旅行商品の造成・販売を行うことで、愛媛県への送客の増加を図った。

④松山市周辺現地視察、研修会

就航1周年を迎える松山-札幌便について、冬季に入り利用者が減少していることから、旅行業者やメディア関係者を招聘し、北海道からの冬季誘客を促進した。

⑤オンライン動画広告配信

愛媛県観光PR動画「疲れたら、愛媛。」を全国に向けて広告配信し (YouTube) 愛媛のイメージアップと旅行需要の喚起を行った。

3 旅行商品企画・受入態勢整備

(1) 旅行商品の企画・開発・販売

地域別DMO推進チームの検討結果を踏まえ、地域素材を盛り込んだ着地型旅行商品 (個人旅行) の企画・開発 (8 商品) を行った。

造成した商品は、29 年度の造成商品と合わせて旅行業者パンフレットへの掲載採用及び販売に向けて営業活動を継続している。

(2) 松山市からの着地型旅行商品の運営管理受託

松山市から受託した旅行商品造成事業 (松山・道後旅行企画商品) において、10 月 1 日から平成 30 年度下期商品の運営管理業務を開始した。

(3) おもてなし向上に資する研修会

・ふるさとふれあい塾 (松山商工会議所等と共同開催)

松山観光コンシェルジュ中級認定 133 名

4 海外営業・誘客活動

国際定期路線の安定運行や新規開設、海外からの誘客拡大に向けて、航空会社、旅行会社訪問や海外誘客プロモーション活動、海外旅行博への参加等を行った。

(1) 主な国際路線に係る航空会社・旅行会社訪問

(2) 海外旅行博、観光物産キャンペーンへの出展、旅行商談会等への参加

12回の旅行博等に参加、一般来場者へのPRと、旅行会社等との個別面談を実施

(3) 海外の旅行会社や海外メディア等の訪問団・視察団等の受入等

- ①台湾エバー航空・台湾旅行社ファミトリップ及び商談会
- ②シンガポール国内フリーペーパーライターの招聘
- ③東南アジア4か国向けプロモーション
- ④香港旅行者ファミトリップ

(4) 観光物産海外宣伝

国際観光の振興と国際交流の促進を図るため、外国語の観光パンフレット等を作成し、海外の旅行会社や報道機関に配布して広く宣伝するとともに、外国人観光客を迎える環境を整備した。

5 外国人観光客受入体制整備

松山ーソウル線の増便や台湾チャーター便の実施、平成31年度のクルーズ船松山寄港等を踏まえて、訪日外国人観光客の受入体制の整備事業を実施した。

(1) 外国人向け体験型コンテンツ造成・情報発信・販売促進事業

外国人感覚に訴求する体験プログラム・旅行商品の新規造成、販売プロモーションを実施

(2) クルーズ船寄港（H31ダイヤモンド・プリンセス等）に向けた対応

船会社へのプレゼンテーションや意見交換会等に参加した。

(3) インバウンド（訪日外国人）観光客受入体制環境整備

- ①英語研修の実施
- ②受入対策セミナーの実施

(4) えひめ愛顔の観光物産館に外国語対応スタッフを配置

毎日10時～17時まで、外国語（主に英語）対応スタッフを配置、愛媛の観光情報、お土産などの案内を行った。

(5) 「愛媛の地酒」を活用した旅行商品開発に向けたモニターツアーの企画及び実施

愛媛県酒造協同組合から、インバウンド需要拡大を通じた愛媛の酒の販路拡大及びブランド力の向上等を目的に、愛媛の地酒を活用したモニターツアーの企画及び実施業務を受託した。

(6) インバウンド（訪日外国人）観光客に向けた情報発信

多言語版観光情報サイト「Visit Ehime Japan」等を活用し、店舗情報や体験型メニューなどの情報発信を行った。

(7) 訪日台湾教育旅行の誘致活動

台湾の学校関係者及び旅行会社関係者を対象とした現地説明会の開催、教育関係者(校長等)の招聘による来訪促進及び修学旅行来県時の受入対応を行った。

6 情報発信

(1) インターネット情報発信

「いよ観ネット」のビジュアル面を強化して最新の観光情報を一元的に発信することにより、利便向上と利用促進を図った。

(2) 観光ポスターの掲出

観光ポスター掲示板を東京モノレール羽田空港駅に設置し、協会会員、四国観光立県推進愛媛協議会会員に利用を呼びかけ、本県の観光物産を全国に向けてPRした。

(3) 観光情報の収集・提供

県内各地の最新の観光情報や、各市町観光協会等のおすすめ情報を定期的に収集・編集し「最新観光・イベント情報」、「季刊観光情報」として報道機関や一般観光客に提供するとともに、マスメディア等を活用した情報発信を行った。

(4) 愛媛観光情報の映像による発信

えひめ愛顔の観光物産館内で愛媛観光紹介DVDを流すなど目に見える観光案内を行ったほか、「いよ観ネット」内のフォトギャラリーに収められている県内観光情報を活用した観光案内に取り組んだ。

(5) 「全国観光情報データベース」への情報の提供

(公社)日本観光振興協会の「全国観光情報データベース」に本県の観光情報を提供し、全国からの情報照会と情報発信に活用した。

II その他観光事業

1 コンベンション開催支援

愛媛県内でのコンベンションを誘致するため、国際ミーティング・エキスポ等の誘致活動や、コンベンション主催者への助成等を行った。

2 観光物産振興団体連携事業

(公社)日本観光振興協会並びに四国4県及び県内観光関係団体等と連携し、愛媛及び四国のイメージアップと入込客の誘致拡大を図った。

(1) (公社)日本観光振興協会四国支部との連携

四国4県の観光宣伝、観光客誘致を図るため、四国ブロック広域観光振興事業推進協議会((公社)日本観光振興協会四国支部ほか)が行う事業に参画した。

(2) 四国観光協会連合との連携

四国4県の観光協会で構成する同連合と協調し、四国地域内観光交流の活性化等について促進活動を行った。

(3) 関係団体実施事業への参画

自治体や関係団体等と連携して 20 事業に参画する等、愛媛のイメージアップと観光客の誘致促進を図った。

3 観光物産振興事業

平成 30 年度に後援・協賛申請された 30 事業に対し、名義後援等を行った。

4 国際サイクリング大会開催事業

しまなみ海道の魅力を国内外に広く情報発信するとともに、地域の振興を図るため、公益財団法人 JKA の補助を受け、10 月 28 日にしまなみ海道を活用したサイクリングしまなみ 2018 を関係機関と連携して開催した。

I 普及・販路拡大事業

1 「えひめ愛顔の観光物産館」における紹介宣伝及びあっ旋

松山市ロープウェー街の情報発信拠点「えひめ愛顔の観光物産館」では、施設の機能を十分に活用し、観光誘客の促進に努めるとともに、県産品の紹介宣伝及び販売を行った。

平成30年度

売上額	127,149千円	昨年実績	95,234千円
来館者数	125,450人	昨年実績	101,947人

(1) 利便性の向上

- 休館日であった水曜日の営業及び年末年始(12/29.12/30.1/3)を臨時営業することにより観光客の利便性向上に努めた。
- 外国語(主に英語)対応スタッフを配置し、訪日外国人旅行者の利便性向上に努めた。

(2) 物産の紹介宣伝及びあっ旋

- 季節の「旬」コーナー等を展開し、魅力ある売り場づくりに努めた。

(3) 物産の販売促進

- 優待サービスとして、税抜千円以上お買い上げの方に割引のサービスを行った。
- 「みきゃんグッズ」のコーナーを設置した。
- 四季折々の館内装飾を行い季節感を演出した。
- ソウル便(チェジュ航空)や台北チャーター便(エバー航空)の就航等にあわせた記念キャンペーンを実施した。

(4) 観光情報の発信

- 県内の主要観光地やイベント情報等をチラシ、パンフレット、DVDにより宣伝した。
- 愛媛の観光ガイドを作成した。
- 「いよ観ネット」(文化、レジャー、グルメ、歴史)を自由に検索出来るようパソコンを設置した。
- 「レジャーガイドブックえひめ」や各種旅行・観光情報誌などを活用して、観光物産館の広告宣伝を行った。

2 ネットショップ「愛ある愛媛いいよかん」の運営

- 楽天市場のインターネットショッピングサイトに開設している「愛ある愛媛いいよかん」を運営し県産品の紹介宣伝及び販路拡大に努めた。
- 被災地応援割クーポン事業を実施(設定期間:9月~2月末)
 - ・クーポン利用額 3,522千円
 - 利用件数 3,645件県内観光名所の紹介及び県産品PRを行うメールマガジンを配信し、次回購入時に使用できるクーポン券を付与した。
- Twitter、LINEでの情報発信やホームページの商品画像の改善に取り組んだ。

平成30年度

売上額	38,475千円	昨年実績 22,604千円
販売件数	7,531件	昨年実績 5,077件

3 県産品の紹介・販路拡大事業

ひめぎんホール、県武道館等で開催された県内の各種大会や県外で開催される各種イベントに積極的に出展した。

(1) 県内

○第130回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 等21か所

(2) 県外

○世界温泉地観光物産展（別府） 等8か所

4 おみやげプロジェクト

「おみやげ」は愛媛県の魅力発信において重要なツールであることから、商品を統一テーマで紹介する企画に取り組んだ。企画タイトル 『愛媛ねりもの紀行』

II 県外における紹介・宣伝及びあつ旋事業

1 「せとうち旬彩館」運営支援

8月中旬から10月4日までリニューアル工事による休館の影響もあり、せとうち旬彩館全体の売上は前年比▲7.9%であった。

平成30年度 物産販売状況（愛媛県分・香川県分総計）

売上額	321,292千円	昨年実績 348,941千円
内、愛媛県分	184,537千円	昨年実績 195,262千円
来所者数	336,819人	昨年実績 380,855人

2 大阪物産あつ旋所管理運営

事務所をはじめ大阪市や愛知県において「愛媛フェア」等36件を開催

平成30年度

売上額	20,169千円	昨年実績 21,039千円
来所者数	38,668人	昨年実績 44,621人

3 百貨店イベント等物産展の開催

愛媛県フェア、四国物産展等 34件実施（内、新規 14件）

III 愛媛DMO事業

1 新たなエリアにおけるフェア開催

百貨店や量販店などにおいて、県産品の販売を行う「愛媛フェア」を開催するとともに、県外での県産品販売イベントに参加し、県産品を通じた愛媛県の認知度向上、魅力発信に努め、愛媛県への誘客に努めた。

2 商品開発支援

観光での思い出や、みやげ話とともに持ち帰られる『おみやげ』は、愛媛県の魅力発信、誘客促進において大変重要なツールであることから、前年度に引き続き、愛媛県産品の魅力を統一テーマで紹介する企画を企業（エス・ピー・シー）と連携して進めた。

3 帳合機能を有した営業活動

百貨店やスーパー等において、これまでの関係を活かして、新たな販路となりうる店舗等を訪問するとともに、新たな取引に繋がるよう営業活動を行った。

4 インターネット販売強化事業及びTwitter、LINE での情報発信

県内観光名所の紹介や、県産品PRを行うメールマガジンを配信するなど、県産品のインターネット販売を強化することにより、県産品の認知度向上に努めた。

また、インターネット販売サイト紹介チラシを作成し、大規模催事（県内で開催される全国大会、県外での愛媛フェア等）の参加者に配布し、知名度向上を図るとともに、Twitter、LINE での情報発信を行った。

共通事業

I 会議開催

① 平成30年度第1回理事会

開催日 平成30年6月27日（水）

会場 松山市立子規記念博物館

出席者 理事・監事

内容

- ・平成30年度事業計画の変更について
- ・平成30年度収支予算の変更について
- ・役員の改選について
- ・定款第34条に規定する委員会の設置について
- ・積立金等の規程の創設について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度決算報告について
- ・愛媛DMO事業推進戦略について
- ・平成30年度観光物産事業功労者及び観光物産優良従事者表彰候補について
- ・会員の異動について

② 平成30年度定時総会

開催日 平成30年6月27日（水）

会場 松山市立子規記念博物館

出席者 会員及び理事・監事

内容

- ・平成30年度観光物産事業功労者表彰及び観光物産事業優良従事者表彰
- ・平成29年度決算報告について
- ・役員の選任について
- ・会長、会長代行、副会長及び専務理事の選定について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成30年度事業計画について
- ・平成30年度収支予算について
- ・愛媛DMO事業推進戦略について
- ・平成30年度借入限度額について

③ 平成30年度第2回理事会

開催日 平成30年6月27日（水）

会場 松山市立子規記念博物館

出席者 理事・監事

内容

- ・会長、会長代行、副会長及び専務理事の選定について
- ・理事会の代行招集者及び代行議長の選任について

④ 平成30年度第3回理事会

開催日 平成31年3月28日（木）

会 場	いよてつ会館 5階クリスタルホール
出席者	理事・監事
内 容	<ul style="list-style-type: none">・平成31年度事業計画（案）について・平成31年度収支予算（案）について・平成31年度借入れ限度額の設定の承認について・平成31年度定時総会の開催日について・平成30年度決算の承認議決行為について・愛媛県物産観光センター管理運営規程の一部改正について・一般社団法人愛媛県観光物産協会就業規則の一部改正について